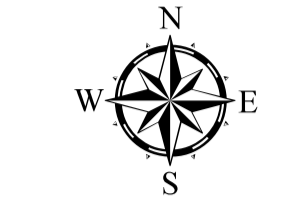
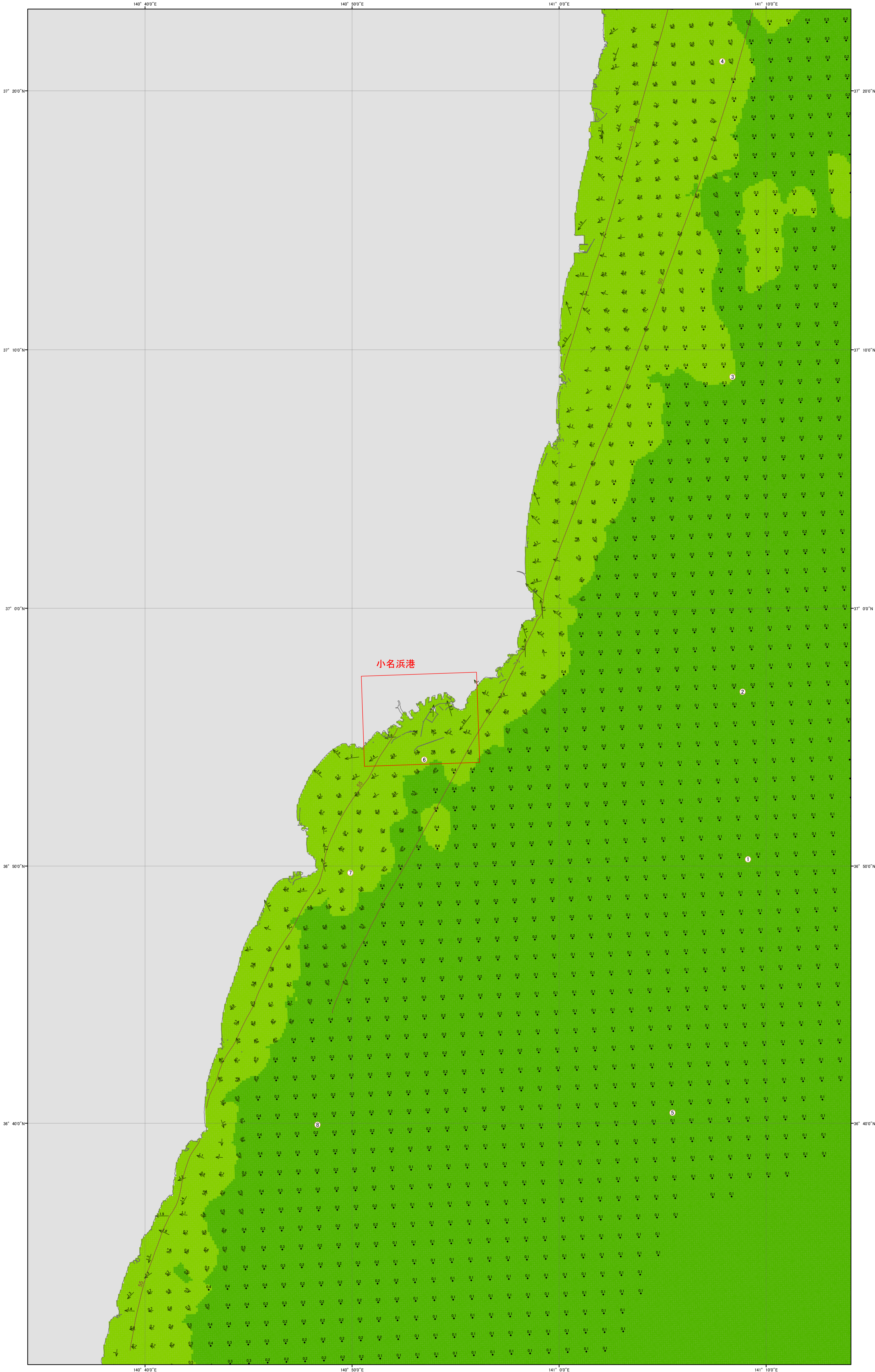


計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 -0.01m
 Zo：0.84m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。

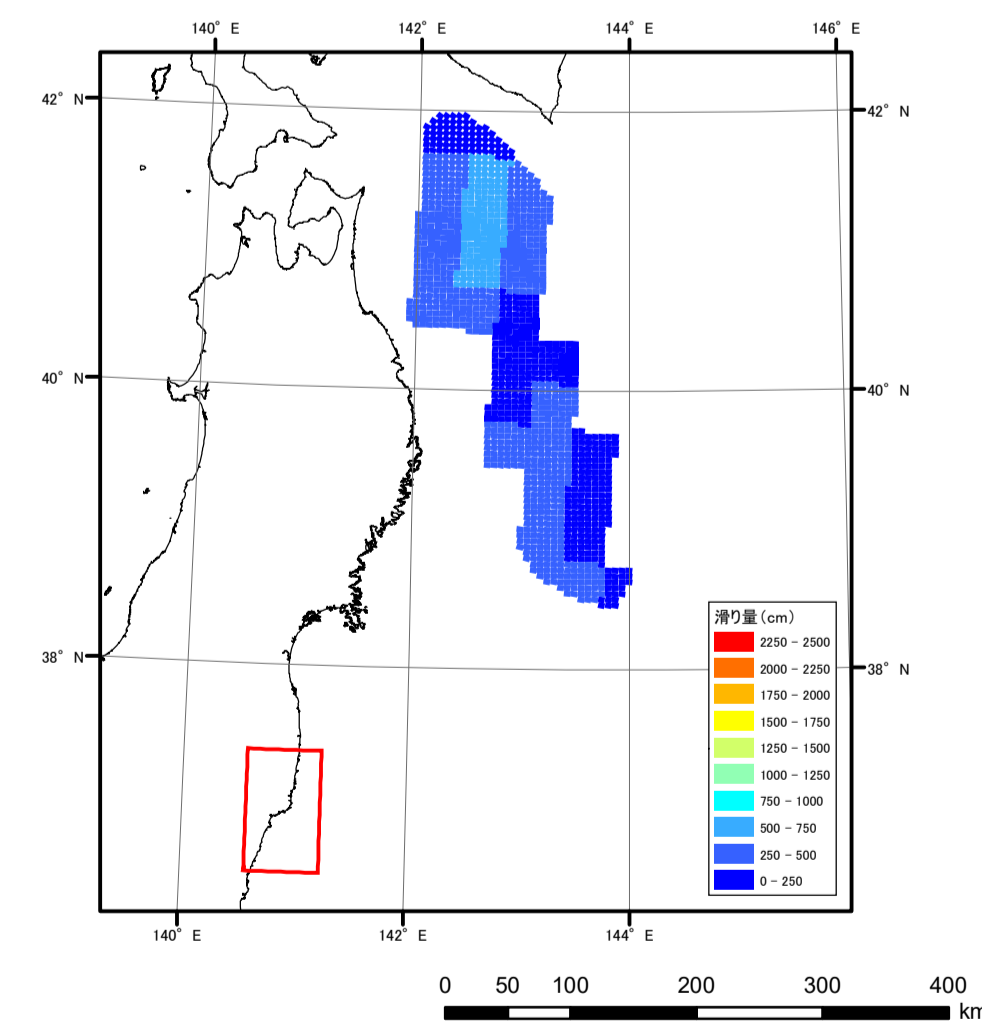


座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

- 最大水位上昇
- 2m~
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
- (例) 水位、流向・流速経時変化図
-
- 進入時最大流 (knot)
- 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を示している。
 - 流向、流速については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
 - 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
 - 0.4ノット以下は流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難なため、流速のみを表示した。

断層モデル



本断層モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会（平成25年12月19日発表）」により公表されたものである。

